



2020年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月15日

上場会社名 株式会社くふうカンパニー 上場取引所 東
 コード番号 4399 URL https://kufu.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役 (氏名)堀口 育代
 代表取締役 新野 将司
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名)菅間 淳 (TEL) 03(6264)2323
 四半期報告書提出予定日 2020年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第2四半期の連結業績(2019年10月1日~2020年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第2四半期	2,896	62.96	263	372.36	264	358.97	3	—
2019年9月期第2四半期	1,777	—	55	—	57	—	△67	—

(注) 包括利益 2020年9月期第2四半期 7百万円(—%) 2019年9月期第2四半期 △67百万円(—%)
 EBITDA 2020年9月期第2四半期 403百万円(252.40%) 2019年9月期第2四半期 114百万円(—%)
 「EBITDA」は、営業利益に減価償却費及びのれん償却額を加えて算出したものです。

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第2四半期	0.21	0.20
2019年9月期第2四半期	△3.79	—

(注) 当社は2018年10月1日設立のため、前年同四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第2四半期	5,611	4,928	85.6
2019年9月期	5,842	4,882	81.5

(参考) 自己資本 2020年9月期第2四半期 4,802百万円 2019年9月期 4,759百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年9月期	—	—	—	—	—
2020年9月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年9月期の連結業績予想(2019年10月1日~2020年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		EBITDA	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

新型コロナウイルス感染症のリスク拡大による事業環境の変化により、現時点では合理的な業績予想の算定が困難なため、2019年11月14日に公表した2020年9月期の業績予想を一旦取り下げ、「未定」とさせていただきます。今後、業績予想の算定が可能となった段階で改めて公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社(社名)ふくろう少額短期保険株式会社、除外 1社(社名)

(注) ふくろう少額短期保険株式会社は、2020年4月1日付でくふう少額短期保険株式会社へ商号変更しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年9月期2Q	17,999,736株	2019年9月期	17,936,586株
2020年9月期2Q	2,201株	2019年9月期	1,901株
2020年9月期2Q	17,957,817株	2019年9月期2Q	17,935,565株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
(企業結合等関係)	10
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは「くふうで生活を賢く・楽しく」を経営理念とし、ユーザーが様々なライフイベントにおいて、より賢く、楽しく意思決定を行えるようサービスの提供を行っております。さらなる事業規模拡大及び持続的成長、企業価値の向上を図るため、子会社の新設やM&A等も機動的に実施しております。

当第2四半期連結累計期間の業績については、売上高は2,896,904千円（前年同四半期比63.0%増）、営業利益は263,962千円（前年同四半期比372.4%増）、経常利益は264,337千円（前年同四半期比359.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,691千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失67,921千円）となりました。なお、連結子会社の株式会社Seven Signatures Internationalについて、新型コロナウイルス感染症が国内外で拡大し、米国ハワイ州での富裕層向け事業の活動が停止していること並びに同感染症の収束の見通しが不透明であることを受け、今後の業績見通し等を踏まえて検討した結果、のれんの全額を減損処理し、130,060千円の減損損失を計上いたしました。

報告セグメント別の業績の概況は次のとおりであります。

<結婚関連事業>

当事業は、株式会社みんなのウェディングによるウェディング総合メディア「みんなのウェディング」、株式会社アールキューブによる会費制を中心とした結婚式プロデュースサービス「会費婚」、株式会社フルスロットルズによるインポートブランドを中心としたウェディングドレス販売「DRESS EVERY」等で構成されております。3社の運営一体化を推進し、花嫁花婿による結婚式の情報収集から開催までを一気通貫で支援できるサービスづくりに注力しております。

当第2四半期連結累計期間においては、結婚式場による広告宣伝費の緊縮傾向が続く中、「会費婚」においては結婚式の施行数が増加し、結婚式関連事業の業容拡大に貢献しました。しかしながら、国内外における新型コロナウイルス感染症のリスク拡大に伴い、3月に予定されていた結婚式の施行は、121件中35件が延期、9件が中止となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における結婚関連事業の売上高は2,195,704千円（前年同四半期比70.6%増）、営業利益は396,730千円（前年同四半期比47.1%増）となりました。前年同四半期比の増減は主に、2019年1月1日より株式会社アールキューブの損益計算書の連結を開始した影響によるものです。

<不動産関連事業>

当事業は、株式会社オウチーノによる住宅・不動産専門メディア「オウチーノ」及び株式会社Seven Signatures Internationalによる富裕層向けコンサルティングサービス等で構成されております。

当第2四半期連結累計期間においては、株式会社オウチーノによる不動産会社等向け営業支援ツール「オウチーノくらすマッチ」の販売が順調に推移しました。一方、富裕層向けコンサルティングサービスにおいては、取扱い物件の多様化や新規顧客の開拓を進めた結果、国内高級物件の販売仲介手数料等が伸長したものの、国内外における新型コロナウイルス感染症のリスク拡大に伴う渡航規制や、取扱い物件の大半を占める米国ハワイ州におけるロックダウン措置の実行に伴い、事業活動を中断せざるを得ない状況となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における不動産関連事業の売上高は416,625千円（前年同四半期比14.8%減）、営業利益は51,216千円（前年同四半期は営業損失123,430千円）となりました。前年同四半期比の増減は主に、株式会社オウチーノの事業整理に伴う売上規模の縮小、ならびにグループ内リソースの再配置による人員規模の最適化等による収益性改善によるものです。

<その他>

その他事業には、株式会社保険のくふうによる保険代理店業及び株式会社Zaimによるオンライン家計簿サービス等の提供による金融関連事業と、株式会社Da Vinci Studioによる当社グループ内外向け技術支援等及び株式会社くらしにくふうによる当社グループ内外向けメディア支援等といった支援機能が含まれます。

当第2四半期連結累計期間においては、引き続き株式会社保険のくふうの取扱保険商品の拡充や、株式会社Zaimの新たなサービス開発を、グループ内事業会社や支援会社との連携のもとに推進しました。また、株式会社くらしにく

ふうにおいては、くらしに関する総合情報メディア「ヨムーノ」の利用者数増加に伴う広告収入が伸長するとともに、グループ内の各メディアの利用者拡大に向けた支援に注力しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間におけるその他事業の売上高は297,694千円（前年同四半期は売上高6,253千円）、営業利益は2,325千円（前年同四半期は営業損失20,871千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は5,611,172千円となり、前連結会計年度末と比較し231,478千円減少しました。これは主に現金及び預金が188,487千円減少、のれんが153,631千円減少したことによるものであります。

負債は682,358千円となり、前連結会計年度末と比較し277,629千円減少しました。これは主に買掛金が122,018千円、未払法人税等が85,350千円減少したことによるものであります。

純資産は4,928,814千円となり、前連結会計年度末と比較し46,151千円増加しました。これは主に、新株予約権の行使により、資本金が19,532千円増加、資本剰余金が19,382千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年9月期の連結業績は、新型コロナウイルス感染症が国内外で拡大し、当社グループの結婚関連事業における結婚式の開催延期やキャンセル及び不動産関連事業における米国ハワイ州での富裕層向け事業の活動停止が発生しており、売上高の減少が予想されます。同感染症の収束の見通しが不透明であることから、業績予想の算定が困難となっておりますため、業績予想を未定とし、公表が可能となった段階で改めてお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,970,458	1,781,970
売掛金	386,245	421,761
商品	51,319	59,487
仕掛品	875	—
貯蔵品	260	190
その他	228,631	253,166
貸倒引当金	△6,213	△6,544
流動資産合計	2,631,577	2,510,031
固定資産		
有形固定資産	133,669	120,853
無形固定資産		
のれん	2,738,825	2,585,194
その他	145,770	179,580
無形固定資産合計	2,884,595	2,764,774
投資その他の資産		
繰延税金資産	39,889	33,547
その他	292,781	316,443
貸倒引当金	△139,861	△134,478
投資その他の資産合計	192,808	215,513
固定資産合計	3,211,073	3,101,141
資産合計	5,842,651	5,611,172
負債の部		
流動負債		
買掛金	226,831	104,813
短期借入金	110,000	80,000
1年内返済予定の長期借入金	32,462	—
未払法人税等	195,068	109,717
支払備金	—	8,659
責任準備金	—	1,781
ポイント引当金	6,904	7,323
資産除去債務	—	3,000
その他	309,367	293,327
流動負債合計	880,633	608,622
固定負債		
長期借入金	40,000	40,000
繰延税金負債	2,132	2,005
資産除去債務	37,221	31,730
固定負債合計	79,354	73,736
負債合計	959,988	682,358
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,068	69,601
資本剰余金	4,668,940	4,688,322
利益剰余金	43,075	46,767
自己株式	△1,779	△2,197
株主資本合計	4,760,305	4,802,493
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△363	△407
その他の包括利益累計額合計	△363	△407
新株予約権	2,060	2,232
非支配株主持分	120,660	124,496
純資産合計	4,882,663	4,928,814
負債純資産合計	5,842,651	5,611,172

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2020年3月31日)
売上高	1,777,667	2,896,904
売上原価	702,035	1,277,482
売上総利益	1,075,631	1,619,421
販売費及び一般管理費	1,019,749	1,355,459
営業利益	55,881	263,962
営業外収益		
受取利息	18	36
為替差益	—	1,411
貸倒引当金戻入額	16,642	—
その他	1,529	653
営業外収益合計	18,190	2,101
営業外費用		
支払利息	207	669
為替差損	16,236	—
その他	34	1,057
営業外費用合計	16,478	1,726
経常利益	57,593	264,337
特別利益		
資産除去債務戻入益	5,932	—
事業譲渡益	—	170
その他	235	7
特別利益合計	6,167	177
特別損失		
固定資産売却損	432	—
固定資産除却損	—	511
減損損失	5,145	130,060
事務所移転費用	24,192	10,564
その他	1,071	1,362
特別損失合計	30,842	142,497
税金等調整前四半期純利益	32,919	122,016
法人税、住民税及び事業税	107,896	108,474
法人税等調整額	△7,055	6,214
法人税等合計	100,840	114,688
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△67,921	7,327
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	3,635
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△67,921	3,691

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△67,921	7,327
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△12	△44
その他の包括利益合計	△12	△44
四半期包括利益	△67,934	7,283
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△67,934	3,647
非支配株主に係る四半期包括利益	—	3,635

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	32,919	122,016
減価償却費	26,171	41,276
減損損失	5,145	130,060
のれん償却額	32,331	97,848
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△19,838	△5,051
受取利息及び受取配当金	△18	△36
支払利息	207	669
為替差損益(△は益)	135	△44
有形固定資産売却損益(△は益)	432	—
売上債権の増減額(△は増加)	26,193	△35,342
たな卸資産の増減額(△は増加)	△117,302	△7,673
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,977	△122,876
未払金の増減額(△は減少)	△32,989	758
未払費用の増減額(△は減少)	△19,788	△5,821
預り金の増減額(△は減少)	△14,883	3,830
未払消費税等の増減額(△は減少)	10,524	△2,555
その他	40,009	△27,341
小計	△37,729	189,715
利息及び配当金の受取額	18	36
利息の支払額	△205	△669
特別退職金の支払額	—	△1,362
法人税等の支払額	△17,129	△192,709
法人税等の還付額	81,812	1,787
営業活動によるキャッシュ・フロー	26,767	△3,199
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,903	△3,215
無形固定資産の取得による支出	△37,171	△57,530
敷金及び保証金の差入による支出	△4,077	△25,794
敷金及び保証金の回収による収入	249	1,475
短期貸付金の増減額(△は増加)	100	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△2,440,759	△76,401
投資有価証券の売却による収入	33,810	—
事業譲渡による収入	—	170
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,449,751	△161,295
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	30,000	—
短期借入金の返済による支出	—	△30,000
長期借入金の返済による支出	△7,269	△32,462
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	38,990
自己株式の取得による支出	△808	△418
新株予約権の発行による収入	—	253
財務活動によるキャッシュ・フロー	21,922	△23,636
現金及び現金同等物に係る換算差額	524	△355
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,400,537	△188,487
現金及び現金同等物の期首残高	4,062,740	1,970,458
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,662,203	1,781,970

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	結婚関連 事業	不動産関連 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	1,286,845	488,861	1,775,707	—	1,960	1,777,667
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	6,253	△6,253	—
計	1,286,845	488,861	1,775,707	6,253	△4,293	1,777,667
セグメント利益又は損失 (△)	269,771	△123,430	146,340	△20,871	△69,587	55,881

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「金融関連事業」、「システム開発事業」等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社収益152,550千円及び全社費用△188,345千円、セグメント間取引消去△1,460千円、のれん償却額△32,331千円が含まれております。全社収益は、各事業会社からの業務支援料が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

当第2四半期連結会計期間において、株式会社Zaimの株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、「金融関連事業」において、資産の金額が174,907千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「金融関連事業」において、2019年2月28日をみなし取得日として株式会社Zaimの株式を取得したことにより、同社を連結の範囲に含めております。当該事象により、のれんが843,117千円発生しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	結婚関連 事業	不動産関連 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	2,195,704	416,625	2,612,329	276,021	8,553	2,896,904
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	21,672	△21,672	-
計	2,195,704	416,625	2,612,329	297,694	△13,119	2,896,904
セグメント利益	396,730	51,216	447,946	2,325	△186,309	263,962

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「金融関連事業」及びグループ内各事業に対する支援領域で発生した売上高及び利益であります。

2. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社収益158,593千円及び全社費用△248,108千円、セグメント間取引消去1,053千円、のれん償却額△97,848千円が含まれております。全社収益は、各事業会社からの業務支援料が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

当第2四半期連結会計期間において、ふくろう少額短期保険株式会社(2020年4月1日付でくふう少額短期保険株式会社に商号変更)の株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、「金融関連事業」において、資産の金額が17,346千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「不動産関連事業」において、当社連結子会社で当初想定していた収益を見込めなくなったため、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては130,060千円であります。

「金融関連事業」において、2020年3月31日をみなし取得日としてふくろう少額短期保険株式会社(2020年4月1日付でくふう少額短期保険株式会社に商号変更)を取得したことにより、同社を連結の範囲に含めております。当該事象により、のれんが74,277千円発生しております。

(企業結合等関係)

取得による企業結合

(くふう少額短期保険株式会社)

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及び事業の内容

名称 ふくろう少額短期保険株式会社

事業の内容 少額短期保険業

② 企業結合を行った主な理由

ふくろう少額短期保険株式会社をグループに迎えることで、グループ内に蓄積された知見を活かしながら、生活シーンに潜む身近なリスクを補償する新たな商品の開発が可能になります。また、開発した商品の認知獲得や販売までを、グループ内各事業領域におけるメディアや専門サービスを通じて包括的に実現していくことで、個人のニーズを捉えた保険商品をお届けしていくことを目指してまいります。

③ 企業結合日

2020年3月27日(株式取得日)

2020年3月31日(みなし取得日)

④ 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

⑤ 結合後企業の名称

くふう少額短期保険株式会社(2020年4月1日付でふくろう少額短期保険株式会社より商号変更)

⑥ 取得した議決権比率

49.69%

⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として、株式を取得するためであります。

⑧ 株式取得の相手先

株式会社フジトミ

(2) 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

被取得企業のみなし取得日を2020年3月31日としており、かつ四半期連結決算日との差異が3ヶ月を超えないことから貸借対照表のみを連結しているため、当第2四半期連結損益計算書については被取得企業の業績を含んでおりません。

(3) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

当社は株式譲渡契約において秘密保持義務を負っているため記載しておりません。

(4) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

①発生したのれん金額

74,277千円

②発生原因

今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力から発生したものであります。

③償却方法及び償却期間

10年間にわたる均等償却

(5) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	4,942	千円
固定資産	12,404	〃
資産合計	17,346	〃
流動負債	12,358	〃
固定負債	—	〃
負債合計	12,358	〃

(6) 企業結合が当第2四半期連結累計期間の開始の日に完了したと仮定して算定された当第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書に及ぼす影響の概算額及びその算定方法

売上高	32,669	千円
営業損失(△)	△8,114	〃
経常損失(△)	△8,140	〃
税金等調整前四半期純損失(△)	△9,074	〃
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△9,223	〃
1株当たり四半期純損失(△)	△0.51	円

(概算額の算定方法)

企業結合が当第2四半期連結累計期間開始の日に完了したと仮定し、算定された売上高及び損益情報と、取得企業の四半期連結損益計算書における売上高及び損益情報の差額を、影響の概算額としております。

なお、当該注記は四半期レビューを受けておりません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は次のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益又は 1株当たり四半期純損失(△)	△3.79円	0.21円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)(千円)	△67,921	3,691
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)(千 円)	△67,921	3,691
普通株式の期中平均株式数(株)	17,935,565	17,957,817
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	—	0.20円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	—	158,558
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前 連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

(注) 前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(重要な後発事象)
該当事項はありません。